

平成23年度(2011年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目: 論述(問題用紙は4ページ、設問は14問あります)

第1ページ

以下の設問1~14から2問選んで、日本語で解答しなさい。そのうち少なくとも1問は第1志望の講座から選ぶこと。

多元文化論講座

1. 学校は、国家や宗教団体から経済的に自立し、国家・宗教に侵犯されない教育を提供できる機関であるべきだという主張がある。その根拠として、国家や宗教団体によって学校が管理されてきたために、過剰なまでに民族意識が高揚され、また宗教教義への過度の固執が教え込まれ、その結果、世界でこれまで起こりまた現に起こっている争乱を生み出してきたことが指摘されている。この主張を裏書きする具体例をひとつ挙げなさい。またその例に沿って、この主張の問題点を述べなさい。
2. ヨーロッパの思想の歴史においては、17~18世紀に、人間の思考を構成する諸観念のあいだの関係はあらゆる人間において同一であるという考えの下に、それらの関係が「一般文法」という形で探求された。また、18世紀末にカントは、先験的カテゴリーを規定するという形で、人間の認識の統一的な形式を探った。このようなヨーロッパ思想の傾向は、人文科学や科学技術の発展に大きく貢献した。この点について、肯定的あるいは否定的な視点から論じなさい。

先端文化論講座

3. 「道徳」と「倫理」の違いについて、具体的に知識人や芸術家の考えを例に挙げながら、論じなさい。
4. 西欧の文化的規範や資本が流入することにより、非西欧地域において長いあいだ維持されてきた伝統的な男女の関係や家族の有り様が、否応なしに変容していく過程について、具体例を挙げながらあなたの考えを述べなさい。

平成23年度(2011年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目: 論述

第2ページ

アメリカ言語文化講座

5. 「アメリカン・ドリーム」とは何か、また、アメリカ社会がその実現を可能にすると考えられてきたのはなぜか、論じなさい。
6. 「研究者としての教師」(teacher as researcher)であるためには、どのような視点が必要か、具体例を挙げて論じなさい。

東アジア言語文化講座

7. 中国語、韓国・朝鮮語、ロシア語のいずれかに関して、その文構造を30分程度で概説する場合、あなたはどのように説明しますか。具体例を挙げて論じなさい。
8. ユーモアは時代、国、民族、世代などによって異なる。中国、韓国・朝鮮、ロシアのいずれかを対象に、そのユーモアの特質について、社会的・文化的・歴史的背景などを念頭に置きつつ、具体的に論じなさい。

平成23年度(2011年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目: 論述

第3ページ

ヨーロッパ言語文化講座

9. 日本は、明治維新以降の近代化のなかで、思想の翻訳、文学作品の翻訳、(法律や政治経済などの)制度そのものの翻訳など、様々な形で翻訳をおこなってきた。同様のことは他の時代や地域でもみられるが、いずれの場合でも、「よい翻訳は翻訳の不可能性の上に成り立つ」ということが指摘される。「よい翻訳」と「翻訳の不可能性」の関係について、具体例をあげながら、あなたの考えを述べなさい。
10. ヨーロッパの代表的な作家(芸術家)の作品を一つ取り上げ、文学史、演劇史、美術史などにおけるその作品の位置づけや、その作品が生み出された時代における社会との関連などについて論じなさい。

ジェンダー論講座

11. 「人は女に生まれるのではない、女になるのだ (On ne naît pas femme: on le devient)」——この文章を書いたのは誰か答えなさい。またその意図を説明し、後のフェミニズムの発展に与えた影響を論じなさい。
12. 「セクシュアル・マイノリティ」と呼ばれる人たちに対する社会的な「配慮」の例を挙げ、あなたの評価を述べなさい。

平成23年度(2011年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目: 論述
第4ページ

メディアプロフェッショナルコース

13. 情報の送り手と受け手の間にある境界が融解しつつある現在、メディアのプロフェッショナルとは何か?そこで要求される資質やスキルなどにも触れながら、あなた自身の考えを述べなさい。
14. 広告の社会的役割について以下の2点を考慮して論じなさい。
- (1) 広告の無い世界で市場競争はどうやって行なわれるのか。
 - (2) テレビ局や新聞社の収益の柱の一つが企業からの広告費だが、そのことによってテレビ局や新聞社の広告主である企業に対する報道姿勢に影響が出ると思うか、思わないか。その判断とジャーナリズムの問題点との関連性。